

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス エンジョイスマイルランド		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		～ 2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日		～ 2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	余暇活動の時間を多いことや、運動スペースにおいて身体を十分に動かしていただける環境があること、あそびを通し楽しさを実感していただくことで、通所を楽しみにしていただいている利用者様も多く、支援にも満足いただいている。	あそびだけになってしまわないよう、スタッフから目的を持ってあそびを提供できるように心掛けている。運動スペースの活動においては、少人数でのグループ分けを行い、安全性に考慮した上で、身体を存分に動かしていただけるよう時間設定を行っている。	スタッフ一人ひとりがあそびのレパートリーを増やし、より利用者様にとって楽しいと思っただけの事業所運営を目指す。
2	送迎時のお話や、Hugを利用した活動内容のお伝え、また公式ラインを活用するなど、日頃から利用者様の状況を伝え合うことで、共通理解を図ることができている。	活動の様子を可能な限り口頭でお伝えができるよう、送迎時にお伝えしております。また送迎時にお伝えすることが難しい時には、公式ラインなどを用いてご様子を伝えるようにしています。	保護者様が参観いただけるような行事を設定するなど、よりスマイルランドの活動を知っていただけるようにする。またインスタグラムなどのSNSなどを通し、積極的に情報を発信する。
3	「フリースペース」「学習スペース」「運動スペース」と活動スペースが分かりやすく構造化された環境となっている。活動場所が分かりやすく、写真などでスケジュールを掲示することで、見通しを持って過ごすことができている。	学習室には一人ひとりの学習机や、衝立のある机があり、学習や課題に取り組みやすいよう環境設定を行っている。また活動によって場所を変えることで、活動にメリハリをつけることができている。	「フリースペース」や「学習スペース」の物の位置など、どうすれば利用様の安全が確保され、かつ過ごしていただきやすいものとなるかを、常に考え、その都度改善を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない。	例年、課題として挙がっておりますが、感染症などの観点から実施に至っておりません。また、決められたルーティーンの中で安心して過ごしていただける利用者様も多いことから活動参加への懸念が考えられます。	全利用者様の参加型の行事でなく、グループで分けるなど少人数での実施を検討致します。また、交流先との密な連携を図り、初めての行事にも見通しを持ってもらえるよう入念な準備を進めます。
2	保護者様やご兄弟様に参加いただける行事が少ない	年度当初の保護者説明会の開催のみとなっている。全体行事として皆様にご参加いただけるイベントはあるが、事業所独自の行事が設定できていない。	年度当初の保護者説明会は例年通り実施を行い、その他に保護者様やご兄弟様に自由に来所いただける開放デーを複数回に分けて設定を致します。
3	送迎員の方や、勤務して間もない方への支援内容や業務内容の周知ができていない。	今回のアンケートにおいて、「送迎業務が主のため把握できていない」という回答が多くありました。現場職員の配置人数の適正からも送迎員の方に勤務いただいておりますが、説明に不足している点が多かったと考えます。	送迎員や勤務して間もない方にも、きちんと実情を知っていただけるよう、十分に説明を行います。